

使用ツール

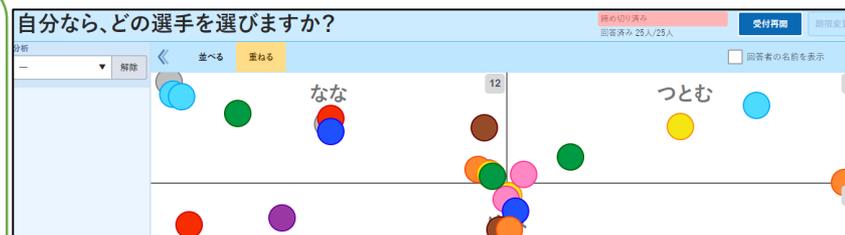
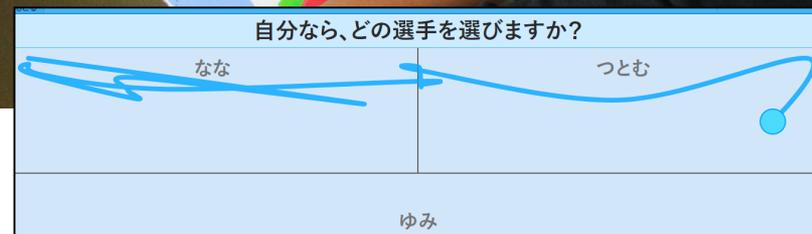
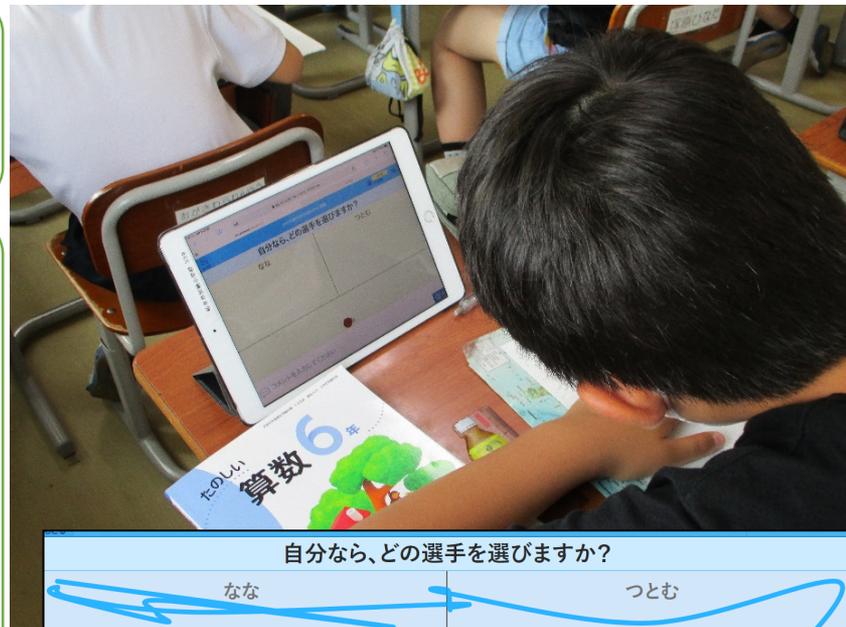
SKYMENU Cloud

活用シーン

○ポジショニング機能を使い、各々の考えが可視化できるようにすると共に、考えの変容を振り返ることができるようにした。
 (個人追究後半に第1回目のポジショニング。全体交流の後、本時を振り返る時間に2回目のポジショニング。それぞれの理由については、ノートの記事。)

子どもの姿・授業の様子、成果等

○子ども同士で意見交流をして、考えを確かめたり、見直したり、広げたりすることにつながった。教師は、ポジションを見ながら意図的に指名したり、考えが変容した子にその理由を聞いたりするなどして、本時の学びを深めるための指導・援助につなげることができた。



使用ツール

Teams (投稿機能)

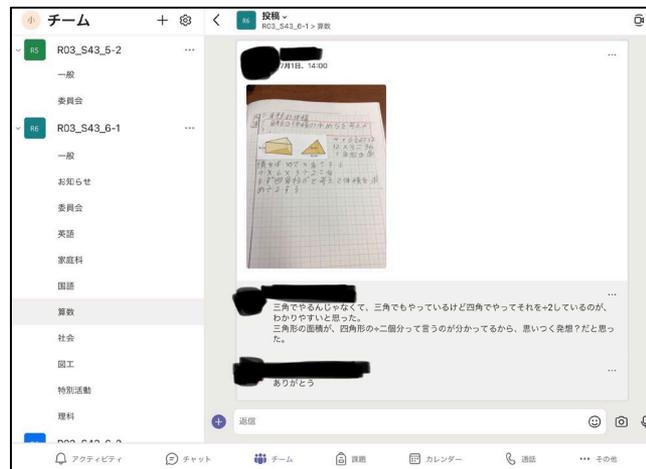
活用シーン

○会話での交流による飛沫飛散防止のため、チャット機能によるペア交流に挑戦しました。

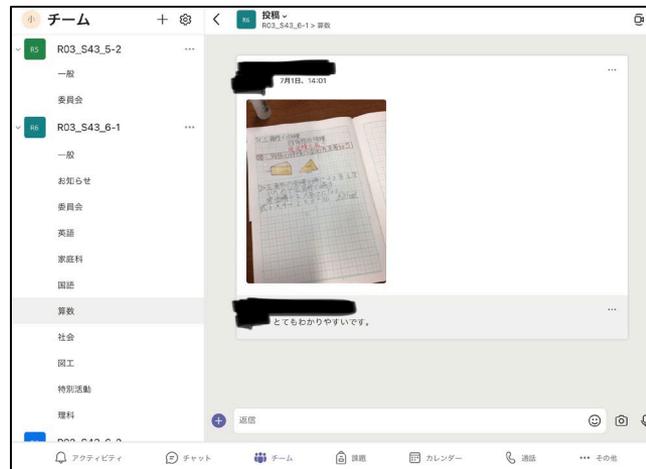
子どもの姿・授業の様子、成果等

○狙い通りに話し合いをして欲しいポイントで話し合いができた児童は少なめでした。ペアになった仲間のノートを見て感想を述べるだけになってしまっただけのペアもありました。

○しかし、どの子も黙々と活動できていました。オンライン授業を行う場合の手段として、チャットによって交流する場の可能性を考えました。



狙い通りに他の人のノートを見て、その人のやり方を説明することができました。



うまく指示ができなかったこともあり、感想を伝えるだけになってしまったペアもありました。

しかし、例えば図工の作品の写真をアップさせ、その人の作品の良さなどを返信させるなど鑑賞の場で使えるのではないかと考えました。

C2 協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理

使用ツール

Power Point

活用シーン

- 単元の終末に、学習したことをまとめる活動で活用した。
- 児童どうしで、作成したものを見せながら発表した。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 分かったことを相手に伝わりやすいように発表できるよう、工夫する姿がみられた。

B4 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、
作品の制作

C1 発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

使用ツール

カメラ Teams

活用シーン

- グループ活動が制限され、理科のグループでの実験を行うことができないときに、実験の様子や結果をカメラで動画撮影し、交流した。
- より分かりやすく結果が出た動画については、Teamsの課題機能を使って、全員で共有した。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 実際に自分の目で実験の結果を確かめたほうがよいには違いないが、コロナ禍で制限がある中で、密を避けながら、実験の結果を共有することができた。
- 動画で残すことで、よりよい結果の実験の様子を全員で確かめることができた。

C1 発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

使用ツール

Teams・カメラ（ビデオ）

活用シーン

- 単元内の「話すこと（発表）」の場面で、児童がスピーチする動画を児童自身で撮影した。
- 撮影した動画を、Teamsの「課題」機能で提出し、教師が評価をした。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 教師から個へのフィードバックができたため、児童が英語を話す際のグローバルエラーが減った。



使用ツール

写真, Teams

活用シーン

○視点によって見え方が変わる作品の確かめや記録, 鑑賞を行った。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 画面を通して見ることによって、客観的に自分の作品の確認することができた。
- お互いの作品を見合い、感想を交流することができた。



使用ツール

カメラ

活用シーン

○自分の描きたい場所を何か所か写真に撮り、その中から描く構図を選べるようにした。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○自分のお気に入りの構図を選び、意欲的に取り組むことができた。

○細かい部分までじっくり見て描くことができたので、達成感のある絵になった。



使用ツール

カメラ Teams

活用シーン

- 分散登校中で、オンラインで授業を受ける児童もいる中で、リコーダーの練習をするとき、教師が実演したものの動画をTeamsで共有して、自宅でも動画を見ながら繰り返し練習ができるようにした。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- リコーダー演奏を学校で行うことに制限があったが、教師の手本を動画で共有することで、自宅でも繰り返し動画を見ながら指使いを確認したり、練習をしたりすることができた。

B3 思考を深める学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

B5 家庭学習



情報端末の持ち帰りによる家庭学習

使用ツール

Teams

活用シーン

- 音楽の授業をオンラインで行い、全員が会議に参加するのではなく、一人ずつ教員機から呼び出しをすることによって、リコーダー演奏のテストを行った。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- コロナ禍で、教室での楽器演奏が制限されている中でも、楽器の演奏させ、テストを行うことができた。
- 教師と招待した児童の1対1でテストを行うことができるので、安心して演奏することができた。



使用ツール

Google map

活用シーン

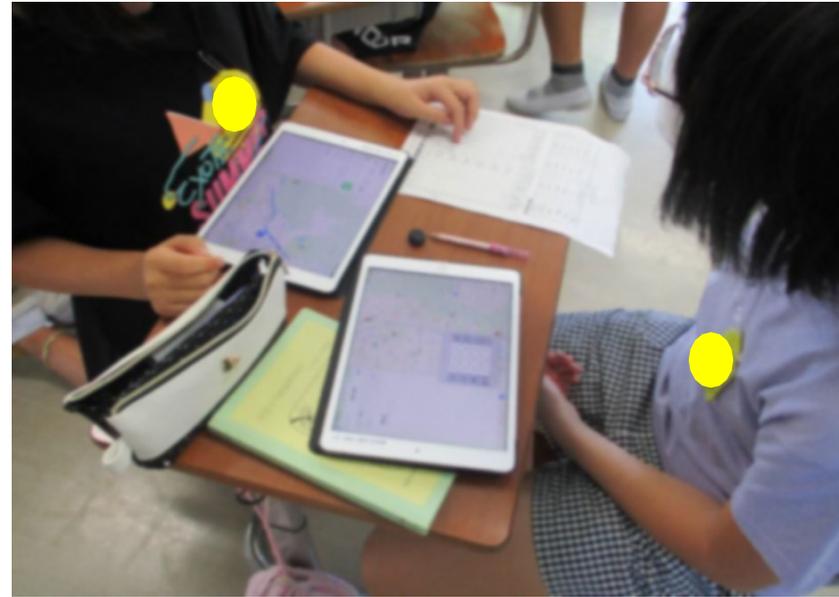
○修学旅行計画

グループごとに行う研修で、どこに行くのか、行くのにどのくらいかかるのか、どの経路で行くのかを計画した。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○自分達で調べることができるので、主体的、協働的に計画することができた。

○調べた結果をその場で仲間に提示しながら話し合いができた。



使用ツール

ONE NOTE

活用シーン

- 学級活動テーマ「私たちにできること」～班で学級の課題・改善点を相談しよう～
- ・各班で画面を共有して、「きっかけ」「提案内容・理由」「よさ」などを「もと」に、自由に書き込みできるように設定する。
- ・班ごとにそれぞれの机で記入（頭を付け合わせる必要がなくても、それぞれの場所から記入できる。→コロナ対応にもなる。）する。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 自由に書き込むことができることで、各班でのレイアウトを作成することができる。
- 班によっては手書きの機能を使うなどしていた。
- 直接会話したりすることをしなくても、オンライン上で相談することができる。
- また、教師がオンライン上でリアルタイムに朱書きして、アドバイスできる。

3班 提案文書

2021年6月29日 水曜日 12:08

無題のページ

私たちにできること…

私たちにできること…

お試しサイレント

3班 提案文書

無題のページ

題名「挙手を増やし、楽しい授業へ」

1.提案のきっかけ

挙手が少なく中々授業が進まなかったり、意見が少ないので、授業が楽しくないから、挙手を増やしたい。

2.提案

①提案すること

(1)キャンペーン
(2)班交流
(3)表

②提案理由

挙手が少なく、班で話し合いの時間をとって、全員挙手までは、行かないから。

③具体的な内容

(1)みんなが挙手できるように、「今日、何回挙手できたか」のキャンペーンを行う。
(2)挙手をする前に班で交流して分からない子に教えて、みんな挙手出来るようにする。

④提案が実現したら、こんないいことがあるよ

(1)授業が早く進んでもっとたくさん学習出来るので学力向上に繋がる。
(2)意見がたくさん出て授業が楽しくなる。

キャンペーンの表は、こんな物を使い、目標の挙手回数を決めて、表に○、△、□、を書きます。

教師専用領域を… 編集

〇班 提案文書

2021年6月30日 水曜日 12:08

教師専用セクション…

〇班 提案文書

題名「挙手を増やして、仲間のために反応できる学級へ」

1.提案のきっかけ

現状や問題点などを書く

2.提案

①提案すること

②提案理由

③具体的な内容

④提案が実現したら、こんないいことがあるよ

B4 表現・制作

マルチメディアを用いた資料、作品の制作

使用ツール

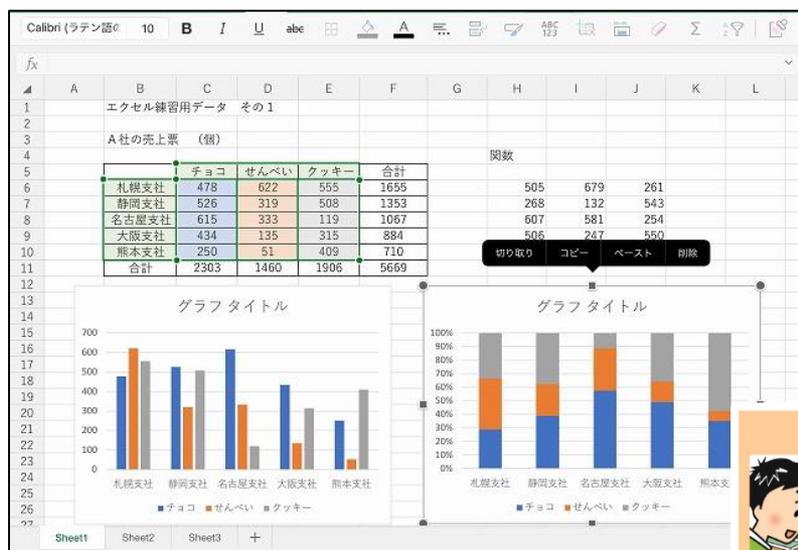
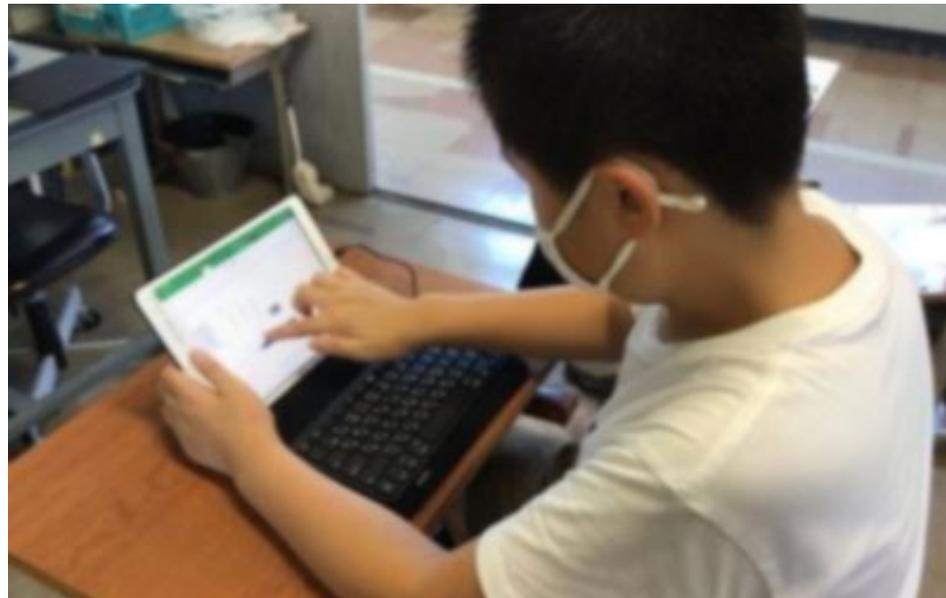
Excel

活用シーン

○白紙のワークシートを使わず、Teamsを使って元データを配付することで、誰もが表計算ソフトの便利さを体感できるようにした。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- ボタンをタップするだけで、合計や平均が求められたり、データを変更すると再計算することに驚いていた。
- 最適なグラフを選択することが大切だと指導した。



使用ツール

Teams/Power Point 他

活用シーン

- 新型コロナウイルス感染症防止のため、6年生児童と保護者を対象とした「親子薬物乱用防止教室」、「修学旅行説明会」のを、学年チームを使いオンラインで開催した。
- 「薬物乱用防止教室」では、学校薬剤師に講師を依頼し、動画を交えたプレゼンテーションを行った。内容や操作方法については薬剤師と事前に打ち合わせを行った。
- 「修学旅行説明会」では、旅行業者も同席して行った。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 家庭の落ち着いた雰囲気の中で、親子一緒になって、薬物乱用防止の大切さや、修学旅行の説明を視聴できた。
- 手元にタブレット端末があることで、スライドショーや動画など、見やすく分かりやすいものとなった。
- 担任だけでなく、学校薬剤師や修学旅行業者も同席することで、保護者や児童からの質問に対して適切に回答することができた。



学校薬剤師による
オンラインプレゼンテーションの様子

タバコを吸わないメリット。

- ①タバコに縛られない人生を送れる。
- ②自分の健康を守れる。
- ③家族・友人の健康を守れる。
- ④子供の喫煙を防止する。
- ⑤地球の環境を守れる。
- ⑥迷惑に気づかない無神経な人間にならない。
- ⑦火の不始末の心配がない。
- ⑧タバコ代がかからない。

タバコを吸わないメリットはこんなにあります。タバコを吸う、ある患者さんは「吸わない人がうらやましい」としみじみおっしゃいました。その方は、家族連れでどこへ出かけても、まず「吸える場所」を探して確認しておかないと不安でたまらないのだそうです。いつニコチン切れになってもすぐ吸いに行けるように…。まるで人生をタバコに支配された『タバコの奴隷』ですね。タバコから解放された自由な人生を生きましょう。

C4 学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

使用ツール

Keynote

活用シーン

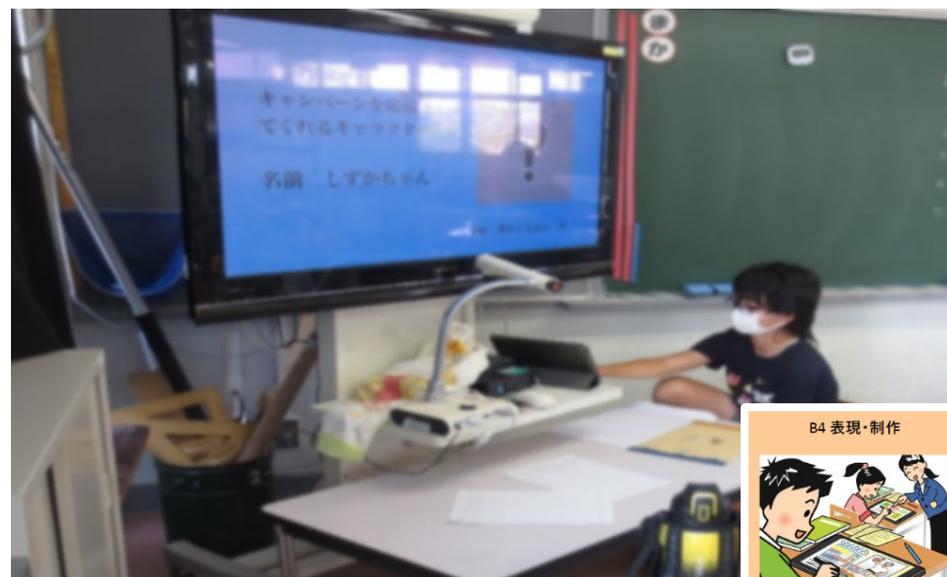
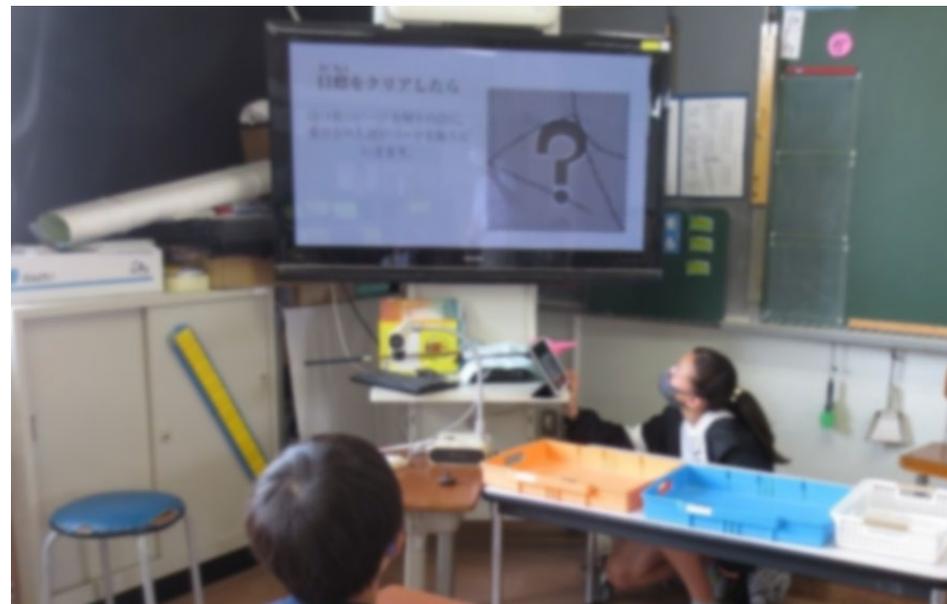
○美化環境委員会が計画した掃除キャンペーンについて、各学年へ知らせるための資料を作成した。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○お知らせの内容が資料として提示されることで、低学年の児童も、話の内容を理解しながら聞くことができた。

○伝えたいポイントが資料として用意されているため、何をどう伝えればよいかははっきりとしていて、一人でも、安心して話すことができた。

○プリントを印刷する手間が削減できた。



B4 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、
作品の制作

使用ツール

Teams

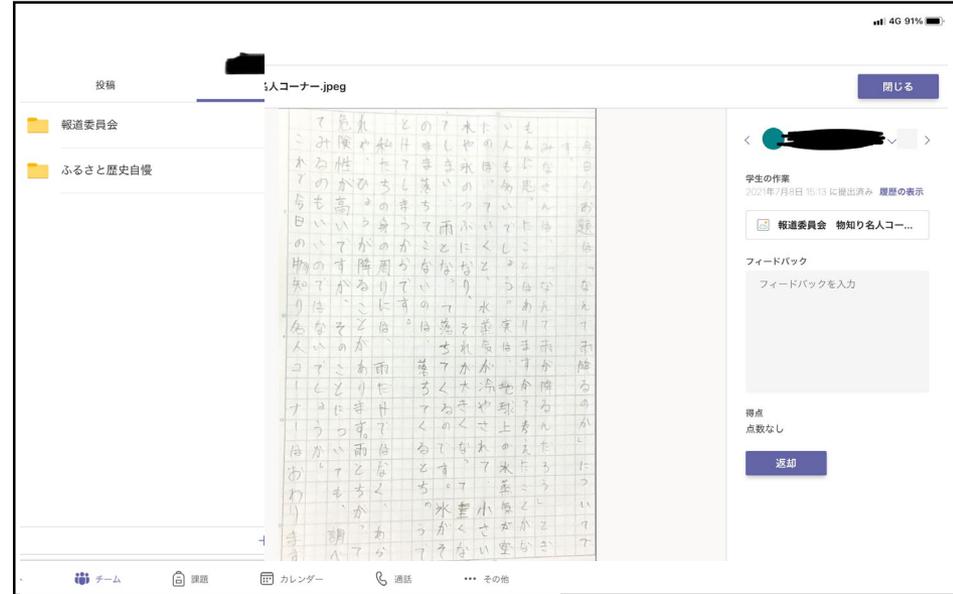
活用シーン

○委員会活動の一環として、報道委員会の「物知り名人コーナー」の発表用の台本をノートやWordで作成しました。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○ノートで作成した児童は、写真に撮り、Wordで作成した児童は、該当ファイルをTeamsのファイルに保存することで、仲間と共有できるようにした。

○発表担当者は自分のタブレット端末からその日使う台本を選ぶことができました。



B4 表現・制作
マルチメディアを用いた資料、作品の制作

使用ツール

School e-Library

活用シーン

○朝の活動での利用

- ・朝の活動の「読書の時間」に電子図書を利用して読書を行う。

○家庭学習（宿題など）での利用

- ・宿題として「『○○○○』を読もう」という課題を出す。
- ・本校独自の自主学習の取組の中で、「電子図書を読む」という項目を設ける。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 電子図書を多くの児童が喜んで利用しているが、児童によって利用の状況に差が見られるため、家庭学習として課題に出したり、長期休暇の課題にしたりするなど多くの児童が利用できるようにした。
- 本校独自の自主学習の取組の中で、どの子も電子図書に取り組めるにすることで、本に親しむきっかけづくりとした。

やりたい! できるようになりたい! をかなえよう!

ゆめ学習

年 組 番()

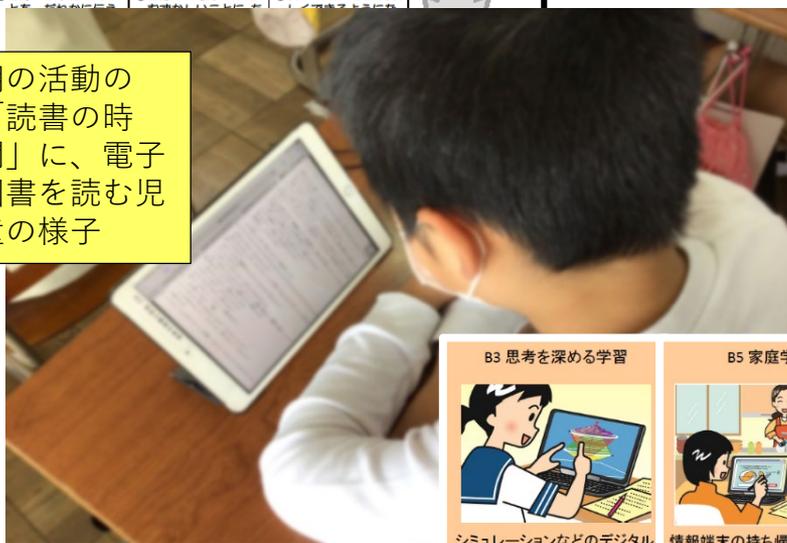
やってみよう! できるようになりたいこと、ひつようだと思うこと

ゆめ学達人を目指そう! ~学習を高めよう~
できたら、色をぬろう!

①自分でゆめ学で取り組むことを決めた。	②ゆめ学に 分 取り組んだ	③自分から進んでゆめ学に取り組んだ。	全部 できたら、 達人!!
④ゆめ学に集中して取り組んだ。	⑤電子図書を読んで、本のお宝のように書くことができた。	⑥ノートなど、学習した内容をまとめたり、記録を残したりできた。	
⑦自分に取り組んだこと	⑧自分のできなかった	⑨新しく知ったこと、新	

各学年、取組ビンゴカードの中心を「電子図書の利用」にして、どの子も取り組めるようにした。このカードは高学年用。

朝の活動の「読書の時間」に、電子図書を読む児童の様子



B3 思考を深める学習

シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

B5 家庭学習

情報端末の持ち帰りによる家庭学習

使用ツール

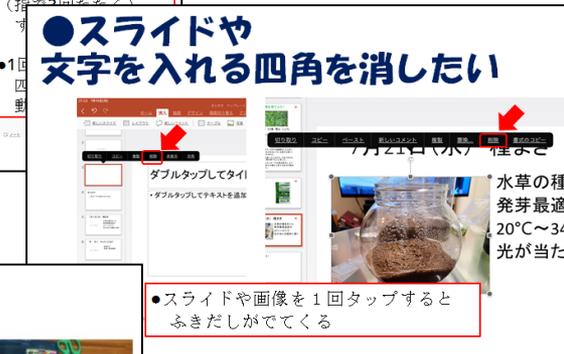
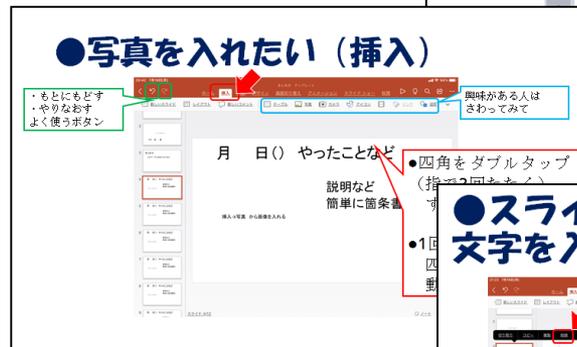
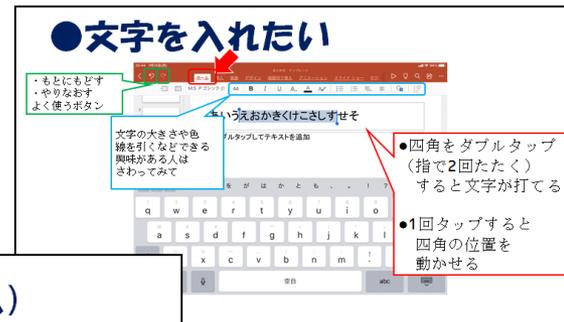
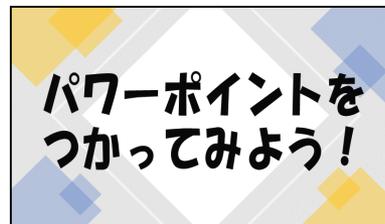
PowerPoint

活用シーン

- 夏休みの自由研究や製作の記録を、PowerPointを使ってまとめる。
- ・事前に文字や写真の入れ方など、基本的な使い方や手順を示したプリントを配布し、説明をした。
- ・作品発表会では、大型テレビに映して発表した。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- どの児童も興味をもっていた。今後授業等で調べたことをまとめる際に活用できる。夏休みには、5年生12人の児童がパワーポイントを使用したまとめ方に挑戦することができた。
- 発表では、製作の過程を写真等で示すことができ、分かりやすかった。



水草の種
発芽最適
20℃～34
光が当た